

参 考 资 料

1 策定経緯

時 期	実施事項
平成21年 7月17日	新城市観光基本計画策定等委員会設置
9月 4日	新城市観光基本計画策定等委員会（第1回） ・委員長・副委員長選出 ・基本計画の検討範囲と策定日程について ・基本計画検討にあつたてのアンケート調査の実施について
9月20日～ 10月6日	アンケート調査(対象：市民、観光施設管理者等、来訪者)
10月29日	新城市観光基本計画策定等委員会（第2回） ・アンケート調査の結果報告（単純集計）について ・基本計画の基本方針・重点施策の検討について
11月5日～ 6日	国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」 重点支援地域観光資源現地確認・意見交換会 （市内7箇所を現地調査 1泊2日） 参加者：アドバイザー（大学教授、コンサル、旅行会社）6名 地元関係者12名
11月27日	新城市観光基本計画策定等委員会（第3回） ・アンケート調査の結果報告（最終）について ・基本計画の基本方針・重点施策の整理について
12月 8日	国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」 重点支援地域観光資源現地確認（市内6箇所を現地調査 1日） 参加者：アドバイザー（旅行出版社）1名
12月11日	国土交通省中部運輸局「観光まちづくりマーケティング事業」 重点支援地域観光資源意見交換会 参加者：アドバイザー（大学教授、コンサル、旅行会社）6名 地元関係者10名
12月28日	新城市観光基本計画策定等委員会（第4回） ・基本計画（中間報告案）について ・基本計画のアクションプラン（案）について
平成22年 1月18日	新城市観光基本計画策定等委員会（第5回） ・基本計画（最終報告案）について
2月 1日～ 2月28日	パブリックコメント募集
2月 9日	部長会議（政策会議室） ・基本計画（案）報告
3月15日	新城市観光基本計画策定等委員会（第6回） ・基本計画に対するパブリックコメント結果について ・基本計画（案）最終報告について
3月19日	パブリックコメント結果公表 提出結果：市民5名から14件の意見
3月24日	新城市観光基本計画の公表

2 新城市観光基本計画策定等委員会

(1) 新城市観光基本計画策定等委員会設置要綱

(目的)

第1条 新城市観光基本計画の策定及びその後の見直しに向けて、必要な検討を行うため、新城市観光基本計画策定等委員会を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項を所掌するものとする。

- (1) 新城市観光基本計画の策定に関すること。
- (2) 新城市観光基本計画の見直しに関すること。
- (3) その他委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(委員等)

第3条 委員は、10人以内とし、市長が委嘱する。

2 市長は、委員のほか、アドバイザーとして若干名の学識経験者を、委嘱することができる。

(組織)

第4条 委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選により定める。
- 3 副委員長は、委員長が指名するものとする。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(運営)

第5条 委員会は、委員長が招集し、議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者を会議に出席を求め、意見又は説明を聞くことができる。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、経済部観光課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月17日から施行する。

(2) 新城市観光基本計画策定等委員会名簿

(敬称略)

【策定委員】

氏 名	役 職 等	備 考
たわだのりたか 多和田憲孝	鳳来寺山表参道発展会長	委員長
たかだ たかのり 高田 孝典	新城市商工会事務局長	副委員長
いわた よしひさ 岩田 佳久	新城市観光協会事務局長	委 員
かとう きみこ 加藤 公子	つくでの森の音楽祭 関係者	委 員
さいとうみよこ 斎藤美代子	愛知東農協組合員課長	委 員
やました しゅういち 山下 修市	NPO 森林真剣隊 事務局	委 員

【アドバイザー】

氏 名	役 職 等	備 考
きかきばら しろうご 榊原 省吾	浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 教授	
すぎと まさのり 杉戸 雅典	(社)愛知県観光協会 専務理事	

3 新城市観光基本計画検討のためのアンケート調査結果

I 調査の概要

(1) 調査の目的

①市民対象

地域住民(市民)の視点から観光に対する意識や観光施策に対するニーズを把握する。

②施設管理者(接客担当者含む)対象

来訪者受け入れ側の視点から観光客の動向や観光施策に対するニーズを把握する。

③来訪者対象

地域住民(市民)の視点から観光に対する意識や観光施策に対するニーズを把握する。

(2) 調査対象

①市民対象

500人

②施設管理者(接客担当者含む)対象

80施設(1施設2~3人)

③来訪者対象

1,000人

(3) 調査期間

①市民対象

9月28日~30日

(追加調査 10月5日~6日)

②施設管理者(接客担当者含む)対象

9月20日~23日

③来訪者対象

9月20日~23日

(4) 調査方法

①市民対象

- ・調査地点の市民に対し、調査員の聞き取り調査
- ・回答者に粗品を進呈

②施設管理者(接客担当者含む)対象

- ・施設管理者及び接客担当者に対し、調査依頼し、調査票を回収
- ・事務局が9月19日までに調査票等を配布し、24日以降に回収
- ・施設に粗品を進呈(来訪者調査依頼時に同時協力依頼)

③来訪者対象

- ・調査地点に来訪した対象者に対し、施設職員が調査協力依頼し、調査票回収
- ・施設ごとに事務局が9月19日までに調査票等を配布し、24日以降に回収
- ・回答者に粗品を進呈

※ 新型インフルエンザ対策として粗品を「消毒アルコールタオル」とした。

(5) 調査地点

①市民対象

市役所本庁、鳳来総合支所、作手総合支所

ピアゴ新城店、Aコープしんしろ店、Aコープ八名店、Aコープ作手店、こんたく長篠グリーンセンター

②施設管理者（接客担当者含む）対象、③来訪者対象

こんたく長篠	ペンション赤とんぼ	やまき
木かげプラザ	民宿川合	鳳鳴堂
鳳来寺	美術珈琲 鳳来館	民宿 筒井
鳳来山東照宮	寒狭川広見ヤナ	かさすぎ
湯谷観光ホテル 泉山閣	まつや(湯谷)	ヨコタ博物館
湯の風 HAZU	リバーサイド園ヨリタ	新城市長篠城址史跡保存館
ひさご	花の木公園	新城市設楽原歴史資料館
旅荘 みつい	涼風の里	新城市鳳来寺山自然科学博物館
ゆかわ	大東牧場	まつや(山頂)
松風苑	カントリーハウス ル・シユール	夢きこう
翠明	やまぼうし	阿寺の七滝 売店
レストハウス板敷	池田屋	新城交通 有限会社
つくで手作り村	有限会社 旭屋	設楽原をまもる会
鳳来三河三石	加藤貸ボート店	豊川上漁業協同組合
グリーンセンター	清水屋製菓 有限会社	豊鉄バス 株式会社
株式会社 新城観光ホテル	有限会社 山梨屋	マルヤス 株式会社
株式会社 さくら別館	有限会社 東御河屋製菓	宇連川漁業協同組合
新城市学童農園山びこの丘	澤田屋	寒狭川中部漁業協同組合
吉良屋（花遊）	徳島屋菓子舗	満光寺
鳳来ゆ〜ゆ〜ありいな	来夢来人・やき家	豊田茶園
名号事業組合（うめの湯）	清林堂	長篠合戦のぼりまつり奉賛会
(財)愛知公園協会 愛知県民の森	吉良屋	レストゆ〜ゆ〜
雲竜荘	丸山荘	J R 東海 豊川駅
一軒の宿 赤引	茶寮 本陣	Acoop しんしろ
若松屋旅館	福寿司	株式会社ユニー ピアゴ新城店

(6) 回収状況

①市民対象	299 件
②施設管理者（接客担当者含む）対象	140 件
③来訪者対象	1,032 件

(7) 調査結果の表示方法

- ・グラフに表示されているN値は有効回答数です。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

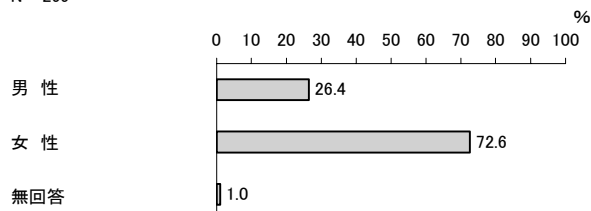
Ⅲ 調査結果の内容

(1) 市民対象アンケート調査結果

性別

性別については、「男性」の割合が 26.4%、「女性」の割合が 72.6%となっています。

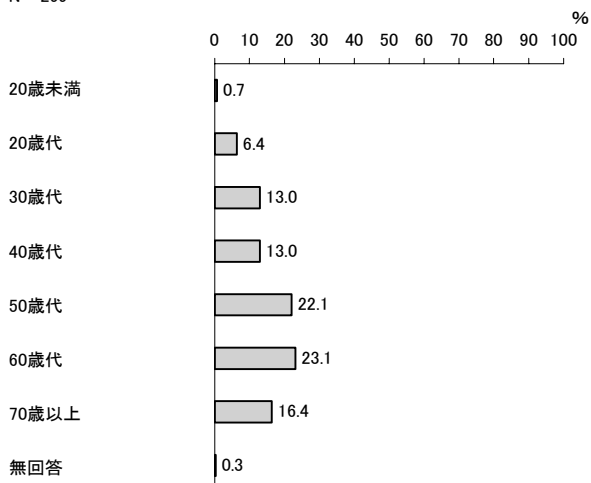
N = 299



年齢

年齢については、「60 歳代」の割合が 23.1%と最も高く、次いで「50 歳代」の割合が 22.1%、「40 歳代」の割合が 13.0%となっています。

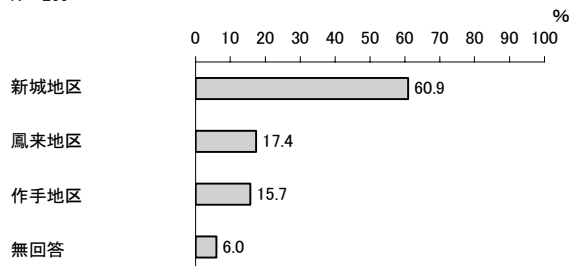
N = 299



居住地区

居住地区については、「新城地区」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「鳳来地区」の割合が 17.4%、「作手地区」の割合が 15.7%となっています。

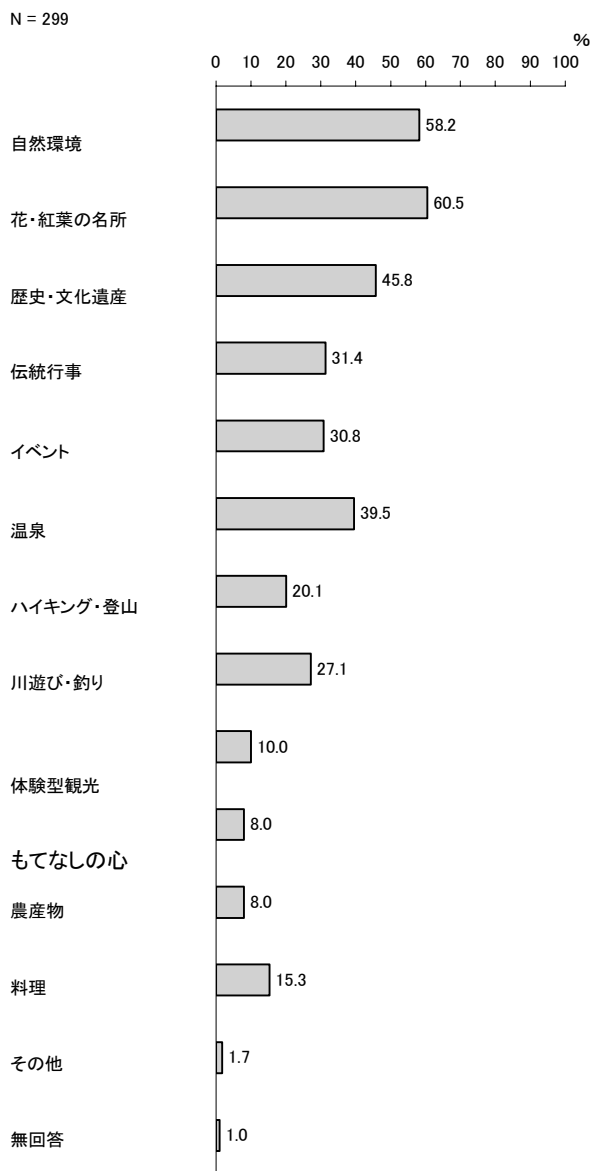
N = 299



問1 あなたは、観光地として、何が新城市の魅力であるとお考えでしょうか？
(複数回答可)

観光地としての新城市の魅力については、「花・紅葉の名所」の割合が60.5%と最も高く、次いで「自然環境」の割合が58.2%、「歴史・文化遺産」の割合が45.8%となっています。

居住地区別で見ると、新城地区で「温泉」「伝統行事」「イベント」「川遊び・釣り」の割合が、鳳来地区で「温泉」の割合が、作手地区で「農産物」の割合がそれぞれ高くなっています。一方、作手地区で「歴史・文化遺産」「温泉」「ハイキング・登山」の割合が低くなっています。



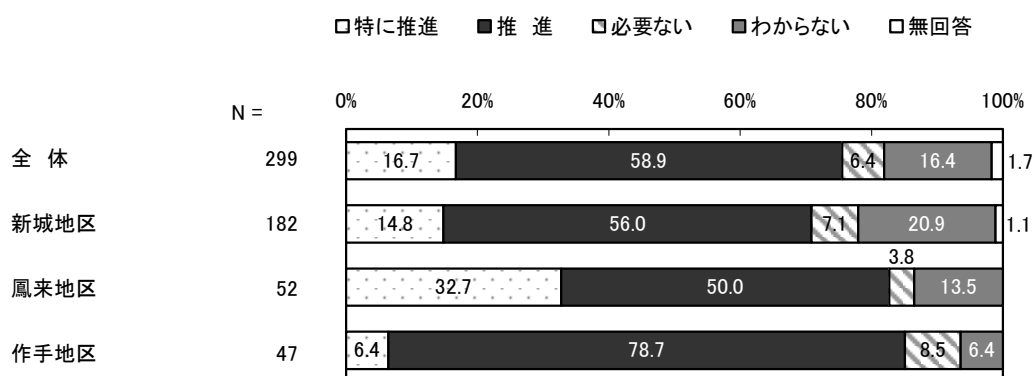
単位：%

	有効回答数 (件)	自然環境	花・紅葉の名所	歴史・文化遺産	伝統行事	イベント	温泉	ハイキング・登山	川遊び・釣り	体験型観光	もてなしの心	農産物	料理	その他	無回答
新城地区	182	58.2	65.9	48.9	37.4	42.9	44.0	21.4	30.8	9.9	7.7	33.5	14.8	0.5	—
鳳来地区	52	67.3	55.8	50.0	26.9	11.5	46.2	21.2	17.3	7.7	13.5	44.2	17.3	1.9	—
作手地区	47	55.3	53.2	36.2	12.8	12.8	21.3	12.8	17.0	8.5	6.4	59.6	12.8	6.4	—

2-1. 体験型観光、例えば、農業体験や林業体験・そば打ち体験などの推進についてどう思いますか？

体験型観光の推進については、「特に推進」の割合が16.7%、「推進」の割合が58.9%、「必要ない」の割合が6.4%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。居住地別でみると、作手地区で「推進」の割合が高く、約8割となっています。

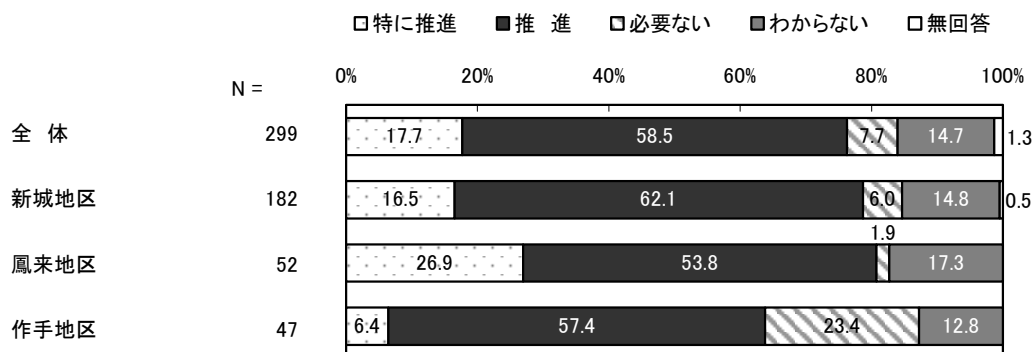


2-2. アウトドアスポーツ、例えば、サイクリング・ハイキング・釣りなどの推進についてどう思いますか？

アウトドアスポーツの推進については、「特に推進」の割合が17.7%、「推進」の割合が58.5%、「必要ない」の割合が7.7%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。

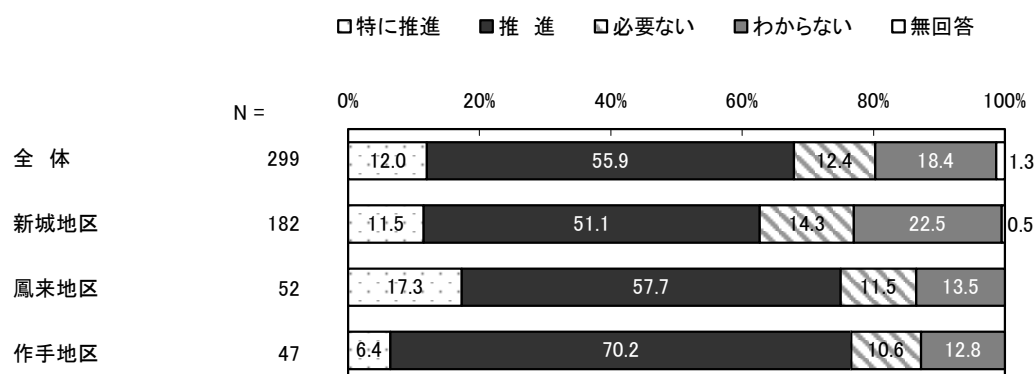
新城地区で「推進」の割合が高く、6割を超えています。一方、作手地区で「必要ない」の割合が高く、2割を超えています。



2-3. 既存の観光施設の改築・整備の推進についてどう思いますか？

既存の観光施設の改築・整備の推進については、「特に推進」の割合が12.0%、「推進」の割合が55.9%、「必要ない」の割合が12.4%となっています。

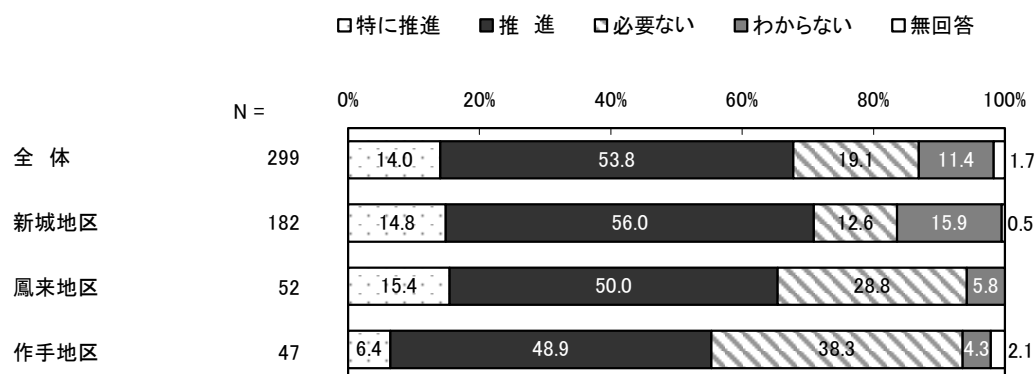
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は6割以上となっています。居住地別でみると、作手地区で「推進」の割合が高く、約7割りとなっています。



2-4. 交流拠点施設の整備、例えば、道の駅などの整備についてどう思いますか？

交流拠点施設の整備については、「特に推進」の割合が14.0%、「推進」の割合が53.8%、「必要ない」の割合が19.1%となっています。

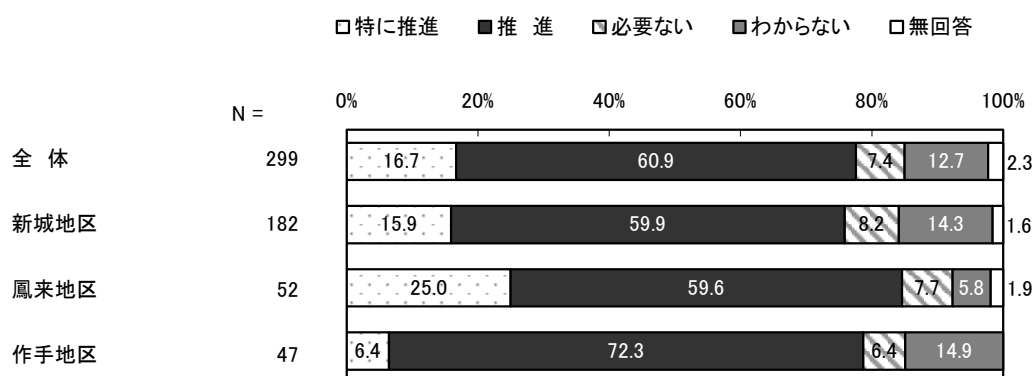
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は6割以上となっています。居住地別でみると、作手地区では、推進に賛成な人の割合が低く約5割となっています。



2-5. 観光ルートの設定、例えば、観光名所や歴史探訪などのルート設定についてどう思いますか？

観光ルートの設定については、「特に推進」の割合が16.7%、「推進」の割合が60.9%、「必要ない」の割合が7.4%となっています。

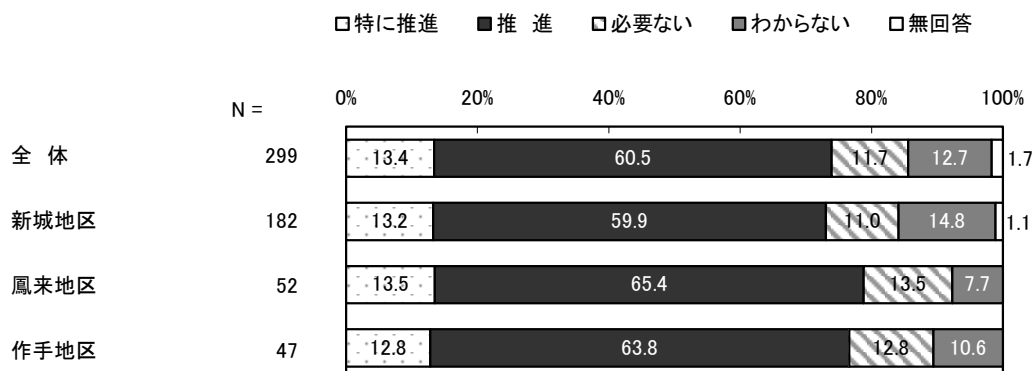
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。居住地別でみると、作手地区で「推進」の割合が高く、7割を超えています。



2-6. 観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進についてどう思いますか？

観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進については、「特に推進」の割合が13.4%、「推進」の割合が60.5%、「必要ない」の割合が11.7%となっています。

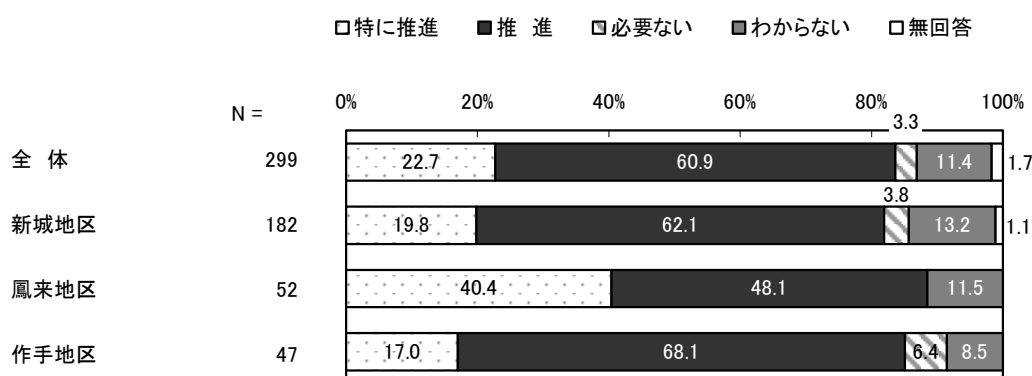
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。居住地別でみると、大きな差異はみられません。



2-7. 観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについてどう思いますか？

観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについては、「特に推進」の割合が22.7%、「推進」の割合が60.9%、「必要ない」の割合が3.3%となっています。

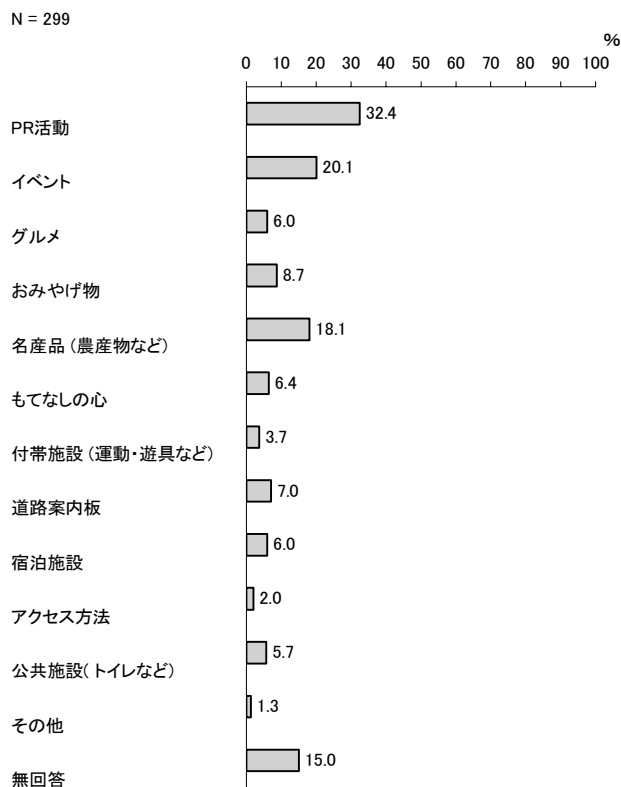
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は8割以上となっています。居住地別でみると、鳳来地区で「特に推進」の割合が高く、4割を超えています。



2-8. 新都市の観光の活性化を図るために最も必要とするものはどれでしょうか？

新都市の観光の活性化を図るために最も必要とするものは、「PR活動」の割合が32.4%と最も高く、次いで「イベント」の割合が20.1%、「名産品(農産物など)」の割合が18.1%となっています。

居住地別でみると、すべての地区で「PR活動」の割合が高く、3割を超えています。



単位：%

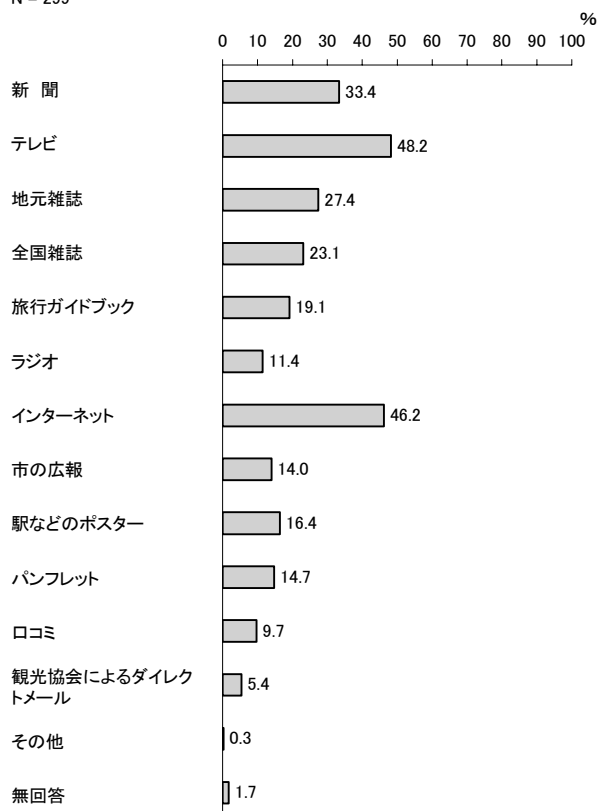
	有効回答数 (件)	PR活動	イベント	グルメ	おみやげ物	名産品	もてなしの心	付帯施設	道路案内板	宿泊施設	アクセス方法	公共施設	その他	無回答
新城地区	182	31.9	23.6	6.6	9.3	19.8	6.0	4.4	6.6	6.0	1.6	12.1	0.5	1.6
鳳来地区	52	30.8	13.5	7.7	11.5	15.4	11.5	1.9	9.6	5.8	3.8	7.7	5.8	—
作手地区	47	31.9	12.8	2.1	2.1	12.8	4.3	2.1	8.5	8.5	6.4	6.4	2.1	2.1

問3 あなたが、新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものはどれでしょうか？

新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものは、「テレビ」の割合が48.2%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が46.2%、「新聞」の割合が33.4%となっています。

居住地別で見ると、新城地区で「地元雑誌」の割合が高く、約4割となっています。一方、作手地区で「インターネット」の割合が低く、3割未満となっています。

N = 299



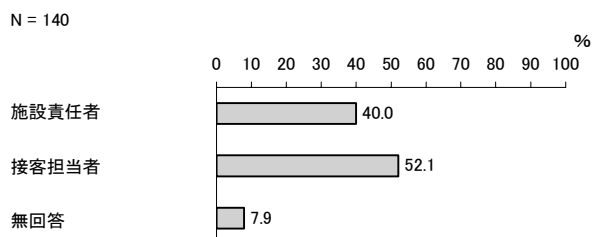
単位：%

	有効回答数 (件)	新聞	テレビ	地元雑誌	全国雑誌	旅行ガイドブック	ラジオ	インターネット	市の広報	駅などのポスター	パンフレット	ロコミ	観光協会による ダイレクトメール	その他	無回答
新城地区	182	36.8	49.5	23.6	22.5	19.8	9.9	47.3	14.8	13.7	13.7	9.9	4.9	—	1.1
鳳来地区	52	32.7	46.2	38.5	25.0	19.2	9.6	51.9	11.5	21.2	19.2	9.6	3.8	—	—
作手地区	47	25.5	53.2	23.4	14.9	19.1	19.1	29.8	12.8	21.3	12.8	6.4	4.3	2.1	—

(2) 施設管理者（接客担当者含む）対象アンケート調査結果

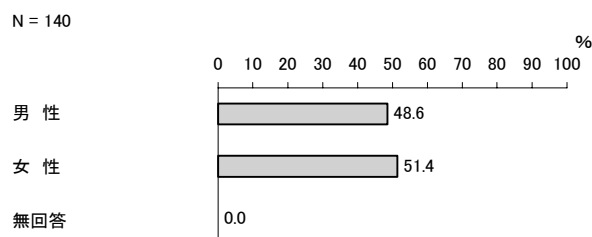
アンケートの記入者

アンケートの記入者については、「接客担当者」の割合が 52.1%、「施設責任者」の割合が 40.0%となっています。



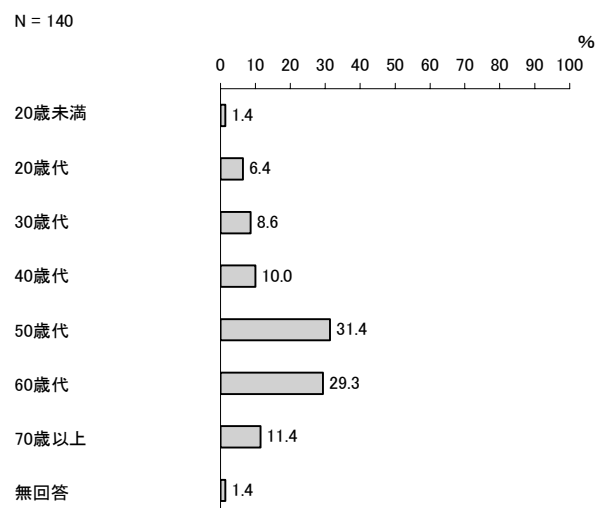
性別

性別については、「男性」の割合が 48.6%、「女性」の割合が 51.4%となっています。



年齢

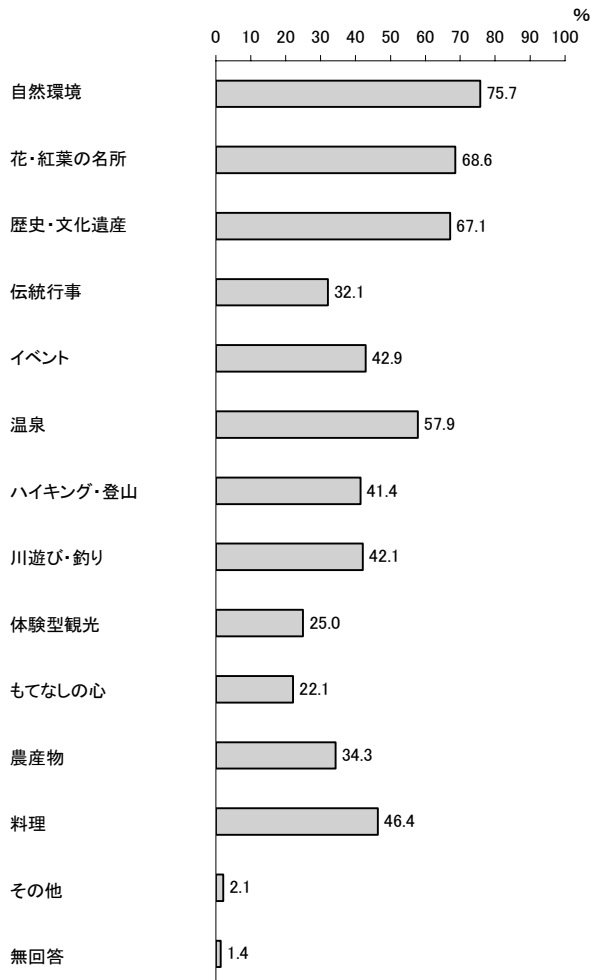
年齢については、「50 歳代」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「60 歳代」の割合が 29.3%、「70 歳以上」の割合が 11.4%となっています。



**問1 あなたは、観光地として、何が新城市の魅力であるとお考えでしょうか？
(複数回答可)**

観光地としての新城市の魅力については、「自然環境」の割合が75.7%と最も高く、次いで「花・紅葉の名所」の割合が68.6%、「歴史・文化遺産」の割合が67.1%となっています。

N = 140

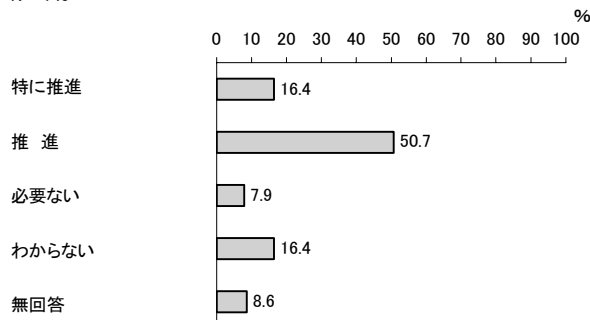


2-1. 体験型観光、例えば、農業体験や林業体験・そば打ち体験などの推進についてどう思いますか？

体験型観光の推進については、「特に推進」の割合が16.4%、「推進」の割合が50.7%、「必要ない」の割合が7.9%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は6割以上となっています。

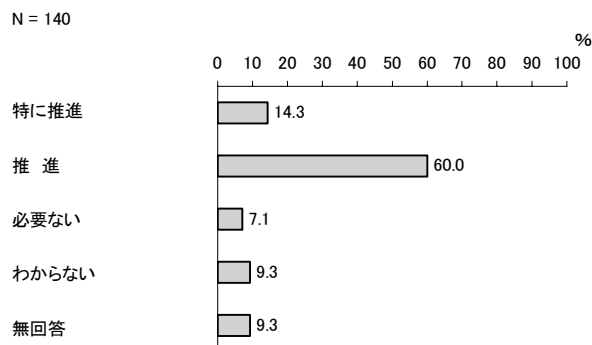
N = 140



2-2. アウトドアスポーツ、例えば、サイクリング・ハイキング・釣りなどの推進についてどう思いますか？

アウトドアスポーツの推進については、「特に推進」の割合が14.3%、「推進」の割合が60%、「必要ない」の割合が7.1%となっています。

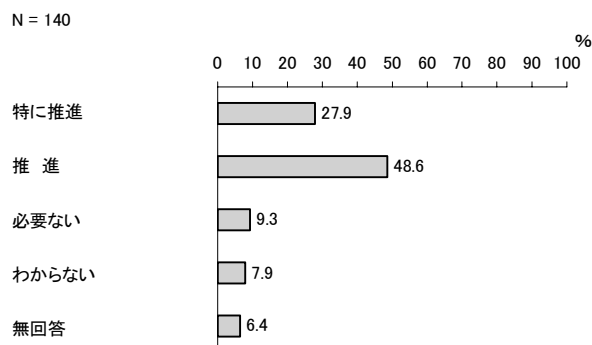
「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。



2-3. 既存の観光施設の改築・整備の推進についてどう思いますか？

既存の観光施設の改築・整備の推進については、「特に推進」の割合が27.9%、「推進」の割合が48.6%、「必要ない」の割合が9.3%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は7割以上となっています。

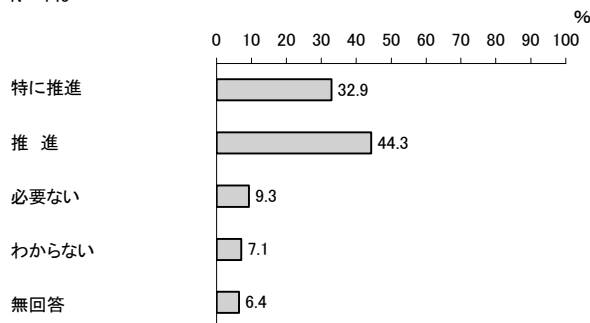


2-4. 交流拠点施設の整備、例えば、道の駅などの整備についてどう思いますか？

交流拠点施設の整備については、「特に推進」の割合が 32.9%、「推進」の割合が 44.3%、「必要ない」の割合が 9.3%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は 7 割以上となっています。

N = 140

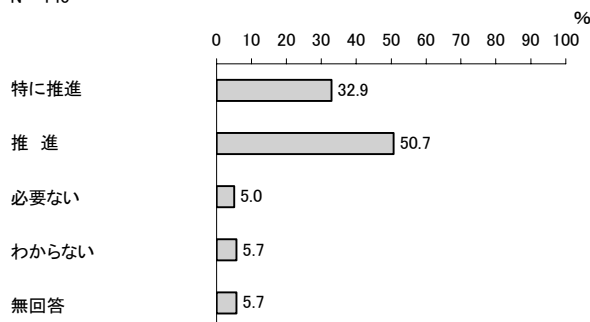


2-5. 観光ルートの設定、例えば、観光名所や歴史探訪などのルート設定についてどう思いますか？

観光ルートの設定については、「特に推進」の割合が 32.9%、「推進」の割合が 50.7%、「必要ない」の割合が 5%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は 8 割以上となっています。

N = 140

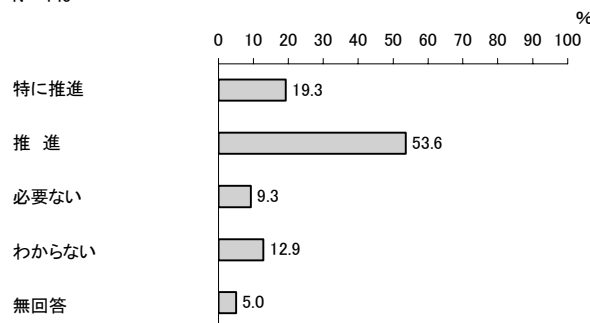


2-6. 観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進についてどう思いますか？

観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進については、「特に推進」の割合が 19.3%、「推進」の割合が 53.6%、「必要ない」の割合が 9.3%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は 7 割以上となっています。

N = 140

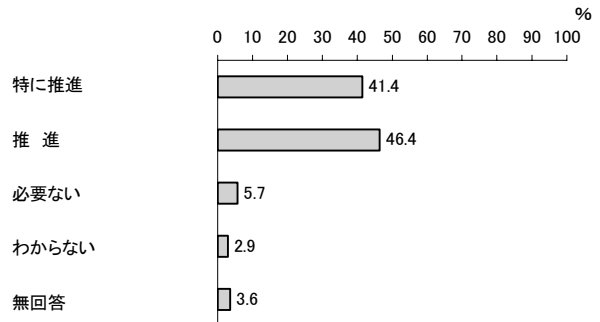


2-7. 観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについてどう思いますか？

観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについては、「特に推進」の割合が41.4%、「推進」の割合が46.4%、「必要ない」の割合が5.7%となっています。

「特に推進」と「推進」をあわせた推進に賛成な人の割合は8割以上となっています。

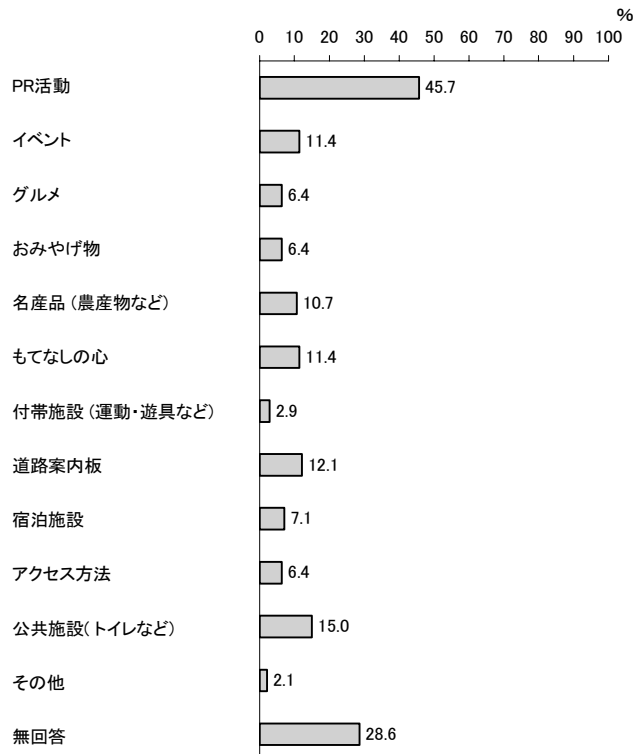
N = 140



2-8. 新都市の観光の活性化を図るために最も必要とするものはどれでしょうか？

新都市の観光の活性化を図るために最も必要とするものについては、「PR活動」の割合が45.7%と最も高く、次いで「公共施設（トイレ）」の割合が15.0%、「道路案内板」の割合が12.1%となっています。

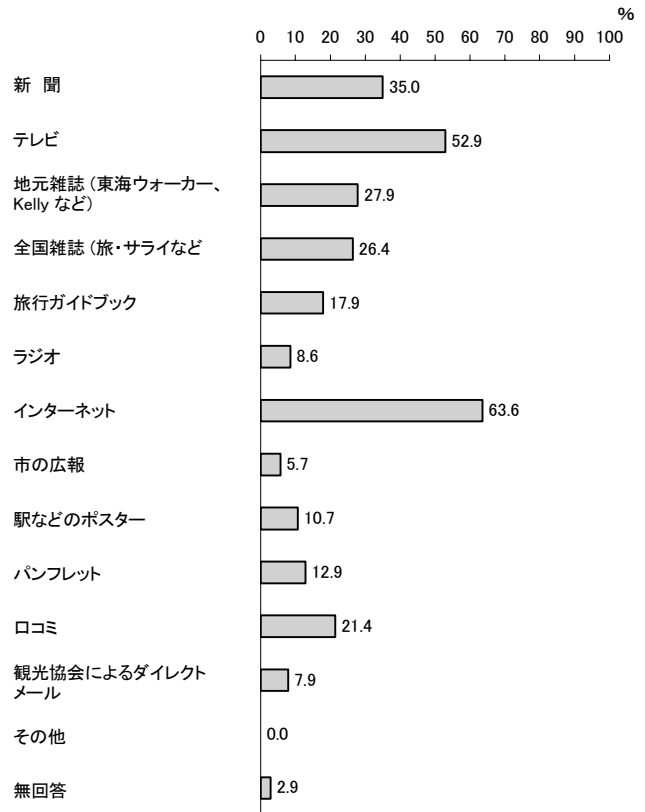
N = 140



問3 あなたが、新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものはどれでしょうか？

新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものは、「インターネット」の割合が63.6%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が52.9%、「新聞」の割合が35.0%となっています。

N = 140

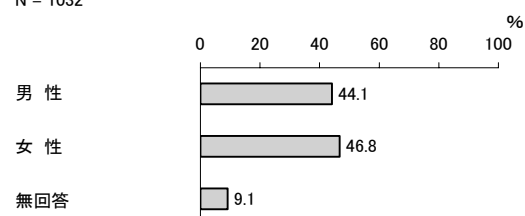


(3) 来訪者対象アンケート調査結果

性別

性別については、「男性」の割合が 44.1%、「女性」の割合が 46.8%となっています。

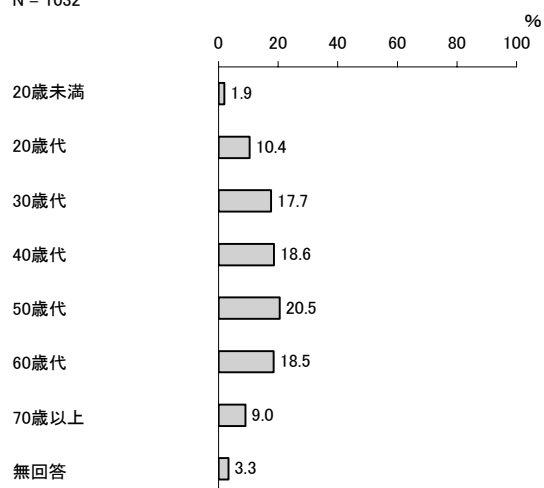
N = 1032



年齢

年齢については、「50 歳代」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「40 歳代」の割合が 18.6%、「60 歳代」の割合が 18.5%となっています。

N = 1032

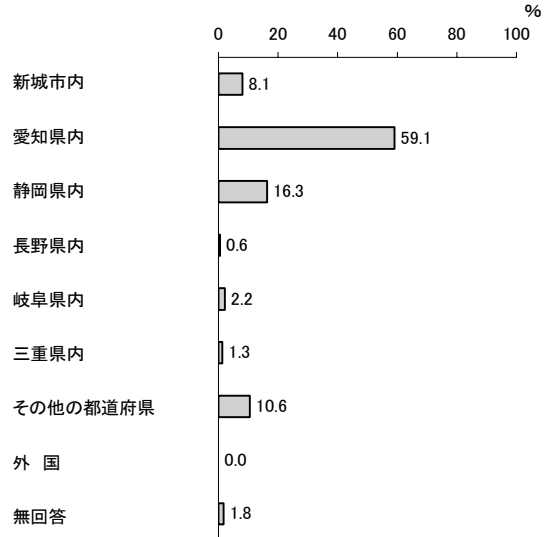


居住地

居住地については、「愛知県内」の割合が59.1%と最も高く、次いで「静岡県内」の割合が16.3%、「その他の都道府県」の割合が10.6%となっています。

豊橋市・・・13.1%
 浜松市・・・10.8%
 豊川市・・・7.2%
 岡崎市・・・4.3%

N = 1032

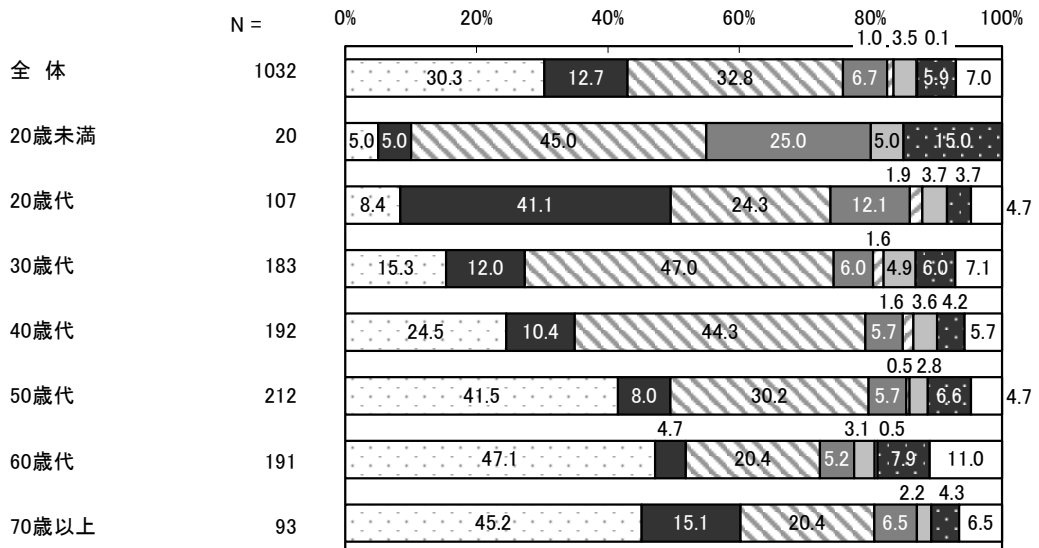


問1 あなたが、同伴された方についてお知らせください？

同伴された方については、「家族」の割合が32.8%と最も高く、次いで「夫婦」の割合が30.3%、「友人・恋人」の割合が12.7%となっています。

年代別でみると、20歳代で「友人・恋人」の割合が、30歳代、40歳代で「家族」の割合がそれぞれ高く、4割を超えています。

- 夫 婦
- 家 族
- 会社・学校の同僚グループ
- ツアー
- 無回答
- 友人・恋人
- 友人のグループ(3人以上)
- 趣味のグループ
- その他

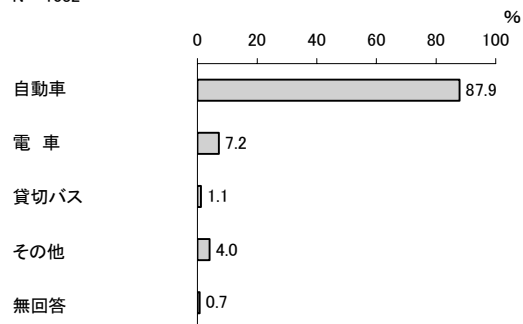


問2 あなたが、今回、新都市に来られた交通手段をお知らせください？(複数回答可)

新都市に来られた交通手段は、「自動車」の割合が87.9%と最も高く、次いで「電車」の割合が7.2%、「貸切バス」の割合が1.1%となっています。

年代別でみると、30歳代で「電車」の割合が高く、1割を超えています。

N = 1032



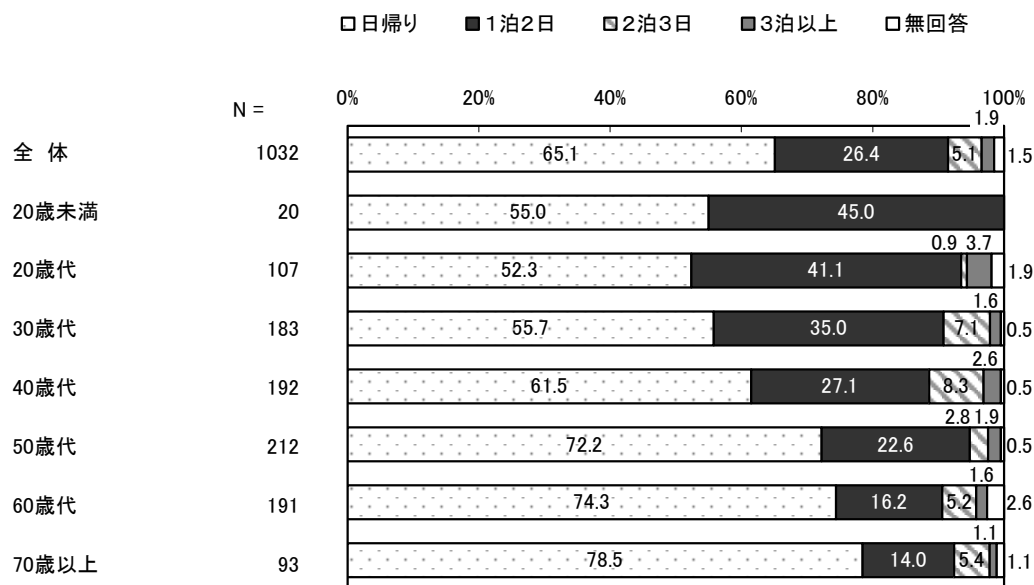
単位：%

	有効回答数 (件)	自動車	電車	貸切バス	その他	無回答
20歳未満	20	95.0	—	—	5.0	—
20歳代	107	86.0	6.5	1.9	5.6	0.9
30歳代	183	85.2	11.5	—	5.5	—
40歳代	192	87.5	6.3	0.5	5.7	—
50歳代	212	89.6	6.1	1.4	2.4	0.5
60歳代	191	90.6	5.8	0.5	3.1	0.5
70歳以上	93	90.3	5.4	3.2	1.1	—

問3 あなたの今回の日程をお知らせください？

今回の日程については、「日帰り」の割合が 65.1%と最も高く、次いで「1泊2日」の割合が 26.4%、「2泊3日」の割合が 5.1%となっています。

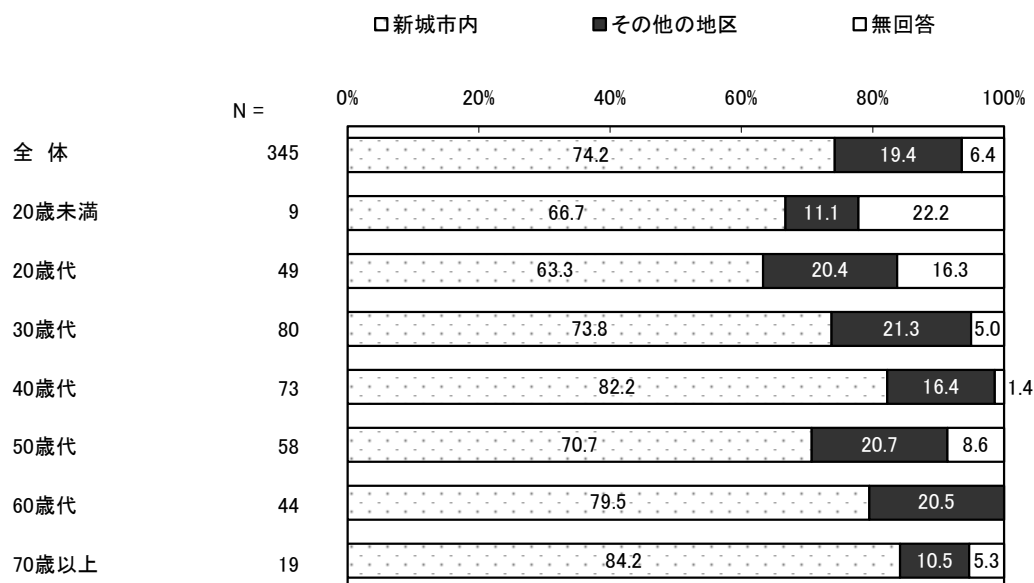
年代別でみると、20歳未満を除き、年代が高くなるにつれ「日帰り」の割合が高くなっています。また、20歳未満、20歳代、30歳代で「1泊2日」の割合が高くなっています、



問3-1 あなたが、宿泊される(た)地区、または、施設名をお知らせください？

宿泊される(た)地区、または、施設名については、「新城市内」の割合が 74.2%、「その他の地区」の割合が 19.4%となっています。

年代別でみると、20歳代で「新城市内」の割合が低く、約6割となっています。

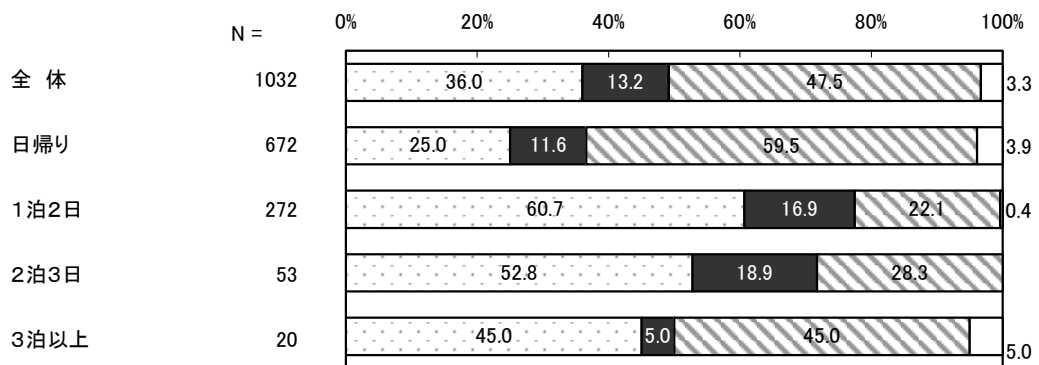
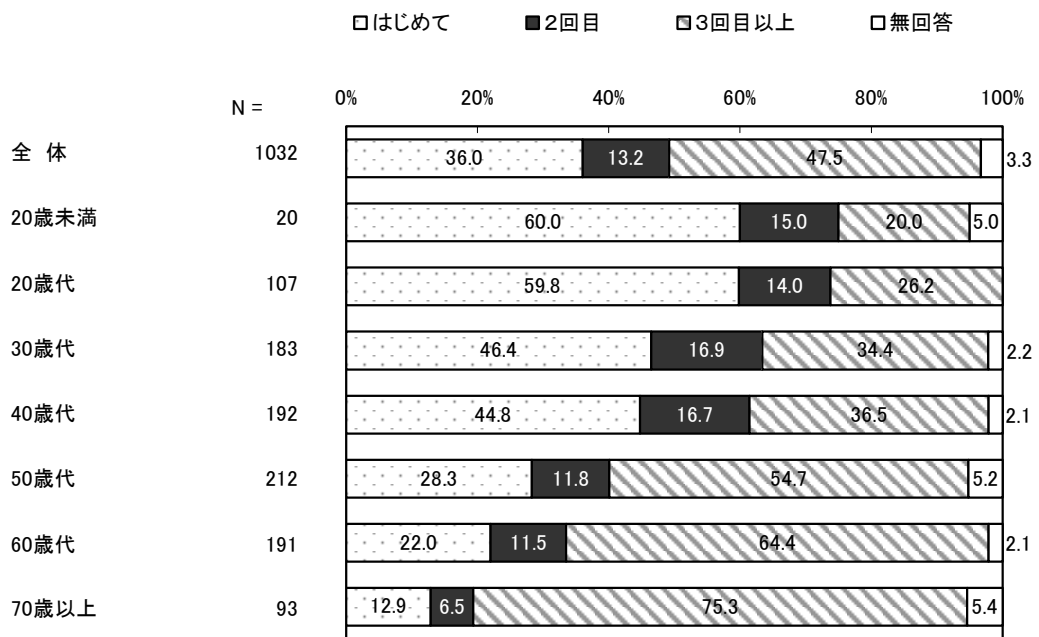


問4 今回の来訪は何回目ですか？

来訪の回数については、「3回目以上」の割合が47.5%と最も高く、次いで「はじめて」の割合が36.0%、「2回目」の割合が13.2%となっています。

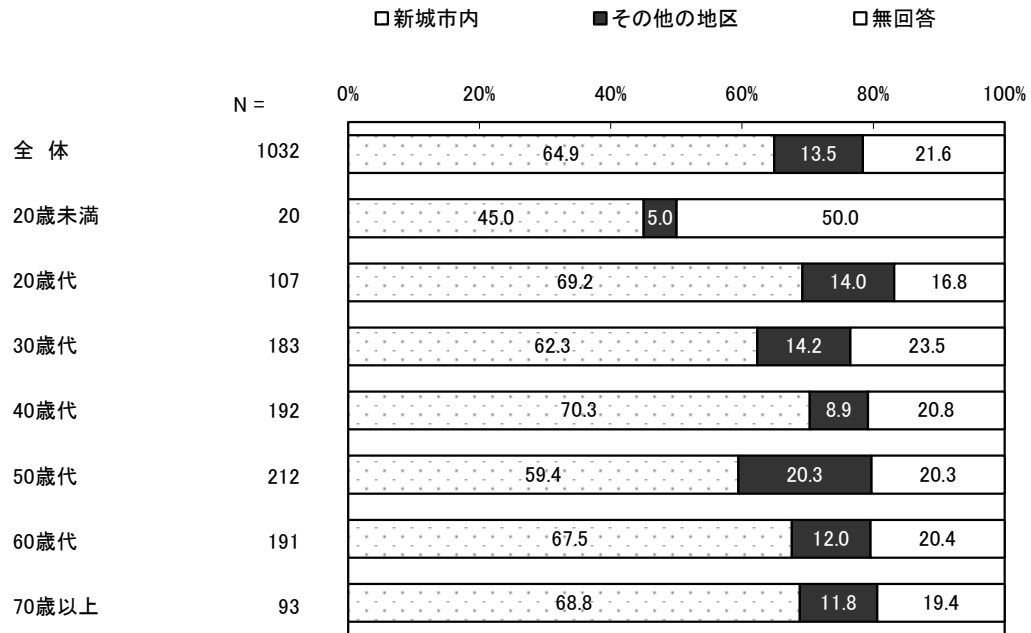
年代別でみると、20歳未満から40歳代で「はじめて」の割合が高く、特に20歳未満、20歳代で約6割となっています。

旅行形態別でみると、1泊2日、2泊3日で「はじめて」の割合が高く、5割を超えています。また、日帰りで「3回目以上」の割合が高く、約6割となっています。

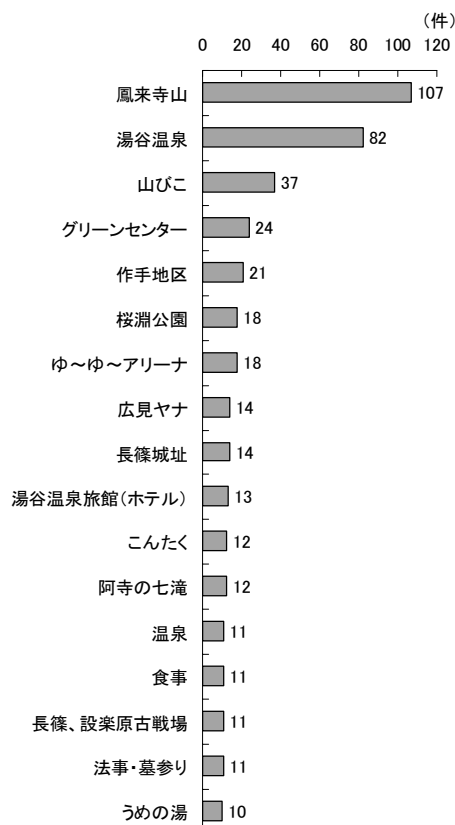


問5 あなたが、当地を来訪された主な目的地、または、場所等の名称をお知らせください？

「新城市内」の割合が64.9%、「その他の地区」の割合が13.5%となっています。
年代別でみると、20歳未満で「新城市内」の割合が低く、5割未満となっています。



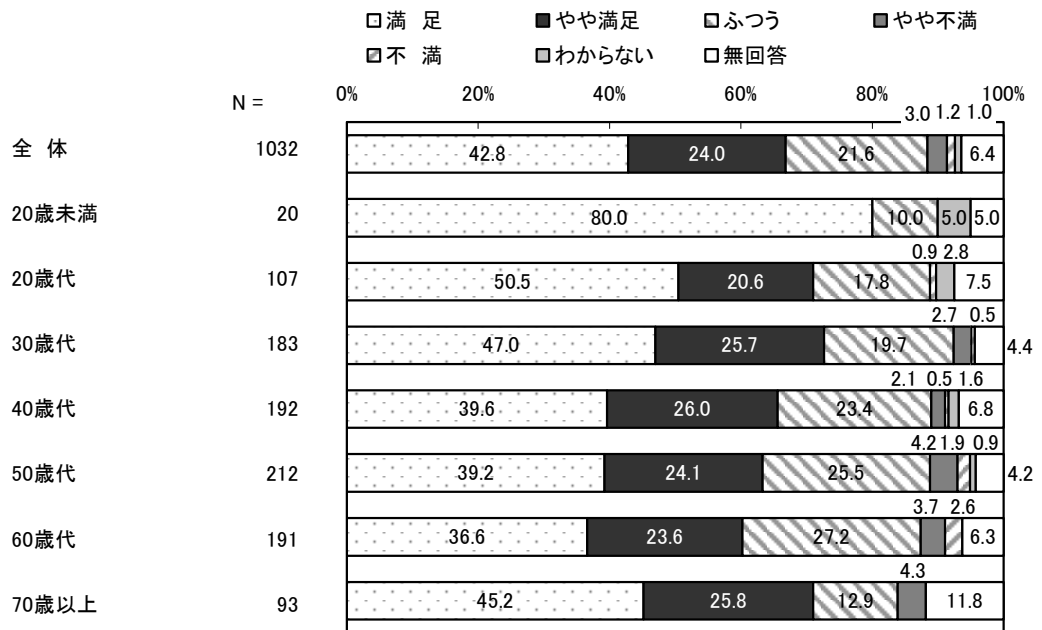
市内の目的地



問6 あなたが、当地を来訪した印象をお知らせください？

新城市を来訪した印象については、「満足」と「やや満足」をあわせた満足している人の割合が66.8%、「やや不満」と「不満」をあわせた不満な人の割合が4.2%となっています。

年代別でみると、20歳代、30歳代で「満足」の割合が高く、約5割となっています。



問6-1 「やや不満」「不満」とお答えた人のみ、その理由をお知らせください?

項目	件数	内容
施設の整備	14	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが工事中だったから。 ・鳳来寺はトイレ汚い、店少ない。 ・施設が少し古い。BBQ場にトイレがない。 ・記念碑のさつき、霧島（植栽）の手入れをしてほしい。 ・整備が充分でない。危険なところが多い。 ・河原におりることができない。 ・公園、子ども遊具、芝生広場が立入禁止ばかり残念。 ・桜の木が白くなり古木である。 ・巴湖の管理をもっとしてほしい。 ・クレーのテニスコートがぼこぼこだった。 ・整備が充分でなくて、危険なところが多い。 ・桜淵公園はせっかく景色が良いのでもっと整備してほしい。 ・夜の散歩が暗すぎて怖いと思いました。 ・新城橋の色の塗り替え（赤にしてほしい）。
交通の便	6	<ul style="list-style-type: none"> ・交通や買い物をするのに不便。 ・渋滞。道が混んでいる。 ・自然歩道の手入れが悪い。 ・博物館までの道が狭い。 ・いらぬ道路をなんで作ったのか。 ・橋をなおしてください。
観光スポット	6	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地らしくない。 ・目玉となるものがない。 ・名所旧跡が少ない。活気がない。 ・子どもの遊び場が古くて、遊べない。 ・点でなく線で見れる所が欲しい。 ・きのこ狩り、山菜狩りツアーをする施設が欲しい。
食事場所	4	<ul style="list-style-type: none"> ・食事ができる所が少ない。 ・昼食に不便（高い。おいしくない） ・料理が遅すぎる。でもおいしかった。 ・食事場所がない。
イベント	2	<ul style="list-style-type: none"> ・桜淵公園でのイベントを多くしてほしい。 ・城址は多いが歴史を知る手掛りが少ない。
その他	2	<ul style="list-style-type: none"> ・入泉料が高い。 ・滝の水が少なかった。

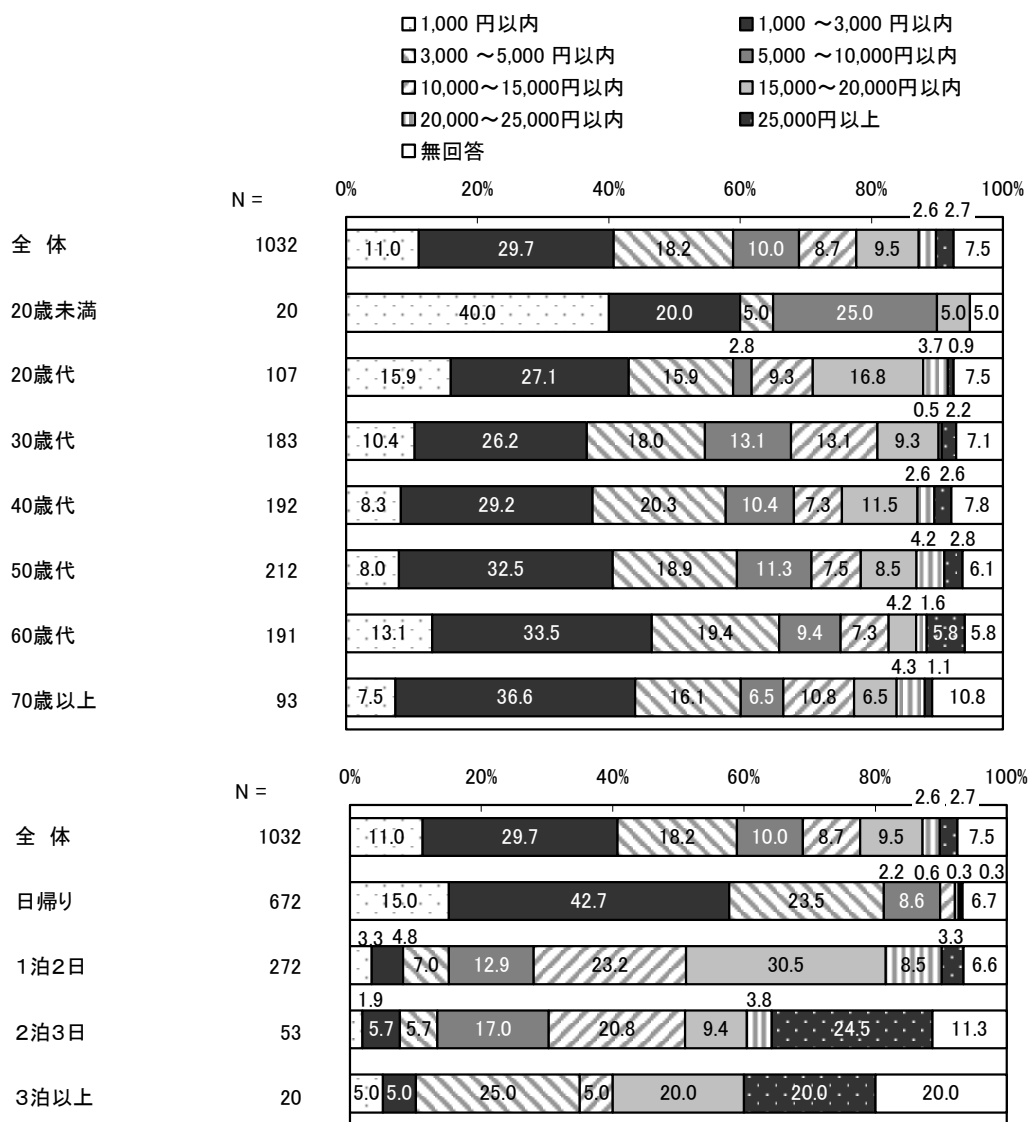
問7 あなたが、今回来訪された費用を1人当たりいくらぐらいと考えていますか？

来訪の費用については、1人当たり「1,000～3,000円以内」の割合が29.7%と最も高く、次いで「3,000～5,000円以内」の割合が18.2%、「1,000円以内」の割合が11.0%となっています。

年代別でみると、20歳代で「15,000～20,000円以内」の割合が高くなっています。

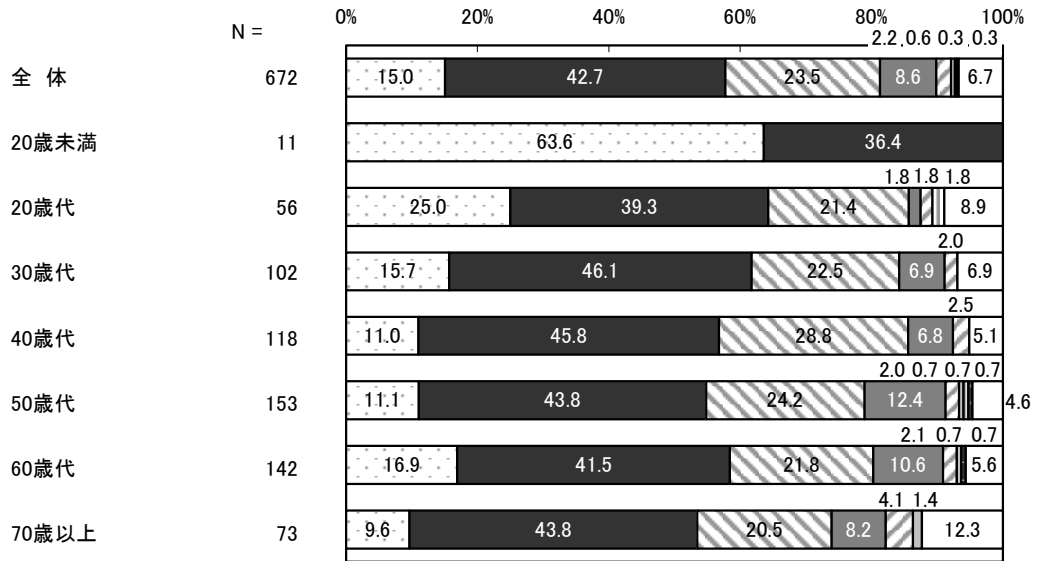
旅行形態別でみると、日帰りで「1,000～3,000円以内」の割合が、1泊2日で「15,000～20,000円以内」の割合がそれぞれ高くなっています。また、1泊2日、2泊3日で「10,000～15,000円以内」の割合が高く、2割を超えています。

旅行形態が日帰りの人を年代別でみると、50歳代、60歳代で「15,000～20,000円以内」の割合が高くなっています。



【日帰り客のみ】

- 1,000 円以内
- 3,000 ~ 5,000 円以内
- 10,000 ~ 15,000 円以内
- 20,000 ~ 25,000 円以内
- 無回答
- 1,000 ~ 3,000 円以内
- 5,000 ~ 10,000 円以内
- 15,000 ~ 20,000 円以内
- 25,000 円以上

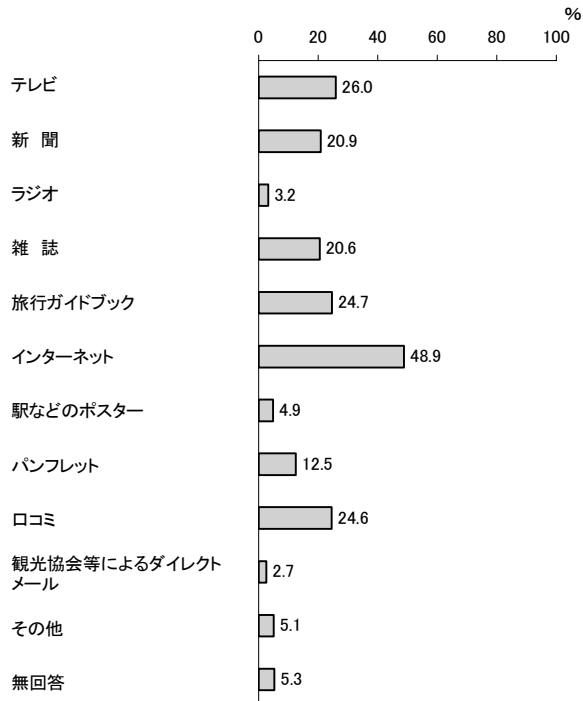


問8 あなたが、観光情報を得るための手段として有効と思うものはどれでしょうか？

観光情報を得るための手段として有効と思うものは、「インターネット」の割合が48.9%と最も高く、次いで「テレビ」の割合が26.0%、「旅行ガイドブック」の割合が24.7%となっています。

年代別でみると、20歳代から40歳代で「インターネット」の割合が高く、6割を超えています。また、60歳代、70歳代で「新聞」の割合が高く、3割を超えています。

N = 1032



単位：%

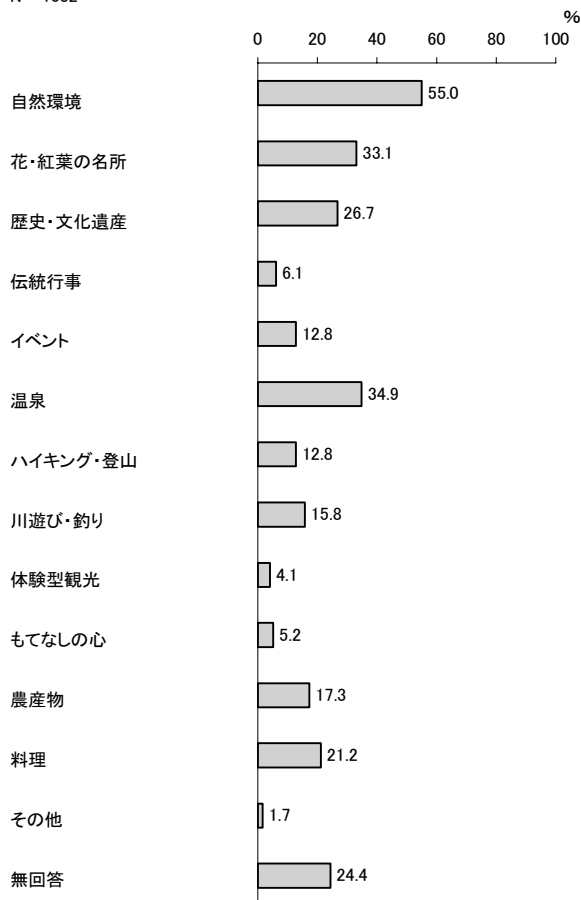
	有効回答数 (件)	テレビ	新聞	ラジオ	雑誌	旅行ガイドブック	インターネット	駅などのポスター	パンフレット	ロコミ	観光協会等によるダイレクトメール	その他	無回答
全体	1032	26.0	20.9	3.2	20.6	24.7	48.9	4.9	12.5	24.6	2.7	5.1	5.3
20歳未満	20	35.0	5.0	—	25.0	35.0	40.0	5.0	25.0	20.0	—	20.0	—
20歳代	107	20.6	8.4	0.9	28.0	37.4	74.8	4.7	17.8	29.0	0.9	2.8	4.7
30歳代	183	29.5	12.0	2.2	27.9	23.5	70.5	6.0	6.6	30.1	0.5	3.3	2.7
40歳代	192	31.3	18.2	3.6	24.5	22.9	63.0	2.6	12.0	19.3	2.1	5.2	5.7
50歳代	212	26.9	25.9	5.2	21.2	25.9	47.6	4.2	13.2	23.6	2.4	4.2	4.7
60歳代	191	22.5	31.4	3.7	12.6	25.1	24.1	6.3	15.7	20.4	4.7	7.3	5.2
70歳以上	93	21.5	30.1	2.2	6.5	15.1	11.8	6.5	9.7	26.9	8.6	6.5	11.8

問9 あなたは、何が新城市の魅力であるとお考えでしょうか？(複数回答可)

「自然環境（鳳来寺山・作手高原など）」の割合が55.0%と最も高く、次いで「温泉（湯谷温泉・うめの湯など）」の割合が34.9%、「花・紅葉の名所（桜淵公園・川売の梅・彼岸花群生地・鳳来寺山・愛知県民の森など）」の割合が33.1%となっています。

年代別で見ると、50歳代、60歳代で「自然環境」の割合が高く、6割を超えています。また、50歳代、60歳代、70歳以上で「花・紅葉の名所」「歴史・文化遺産」「温泉」の割合が高くなっています。

N = 1032



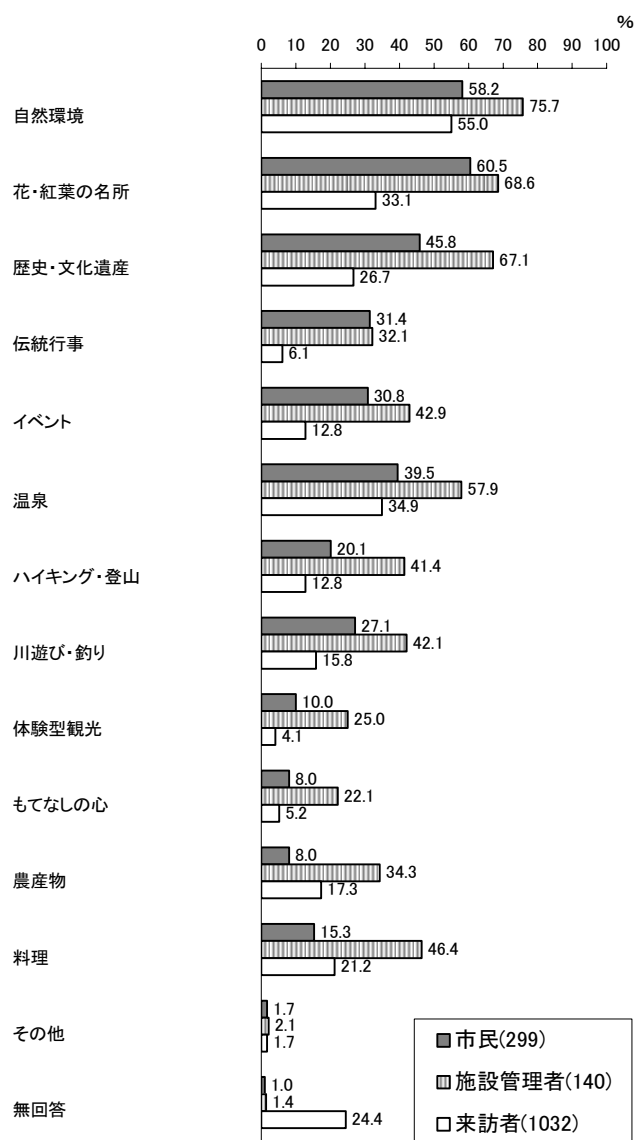
単位：%

	有効回答数(件)	自然環境	花・紅葉の名所	歴史・文化遺産	伝統行事	イベント	温泉	ハイキング・登山	川遊び・釣り	体験型観光	もてなしの心	農産物	料理	その他	無回答
全体	1032	55.0	33.1	26.7	6.1	12.8	34.9	12.8	15.8	4.1	5.2	17.3	21.2	1.7	24.4
20歳未満	20	35.0	25.0	25.0	15.0	10.0	25.0	15.0	15.0	5.0	15.0	20.0	20.0	5.0	25.0
20歳代	107	43.9	23.4	16.8	5.6	7.5	28.0	12.1	11.2	1.9	4.7	5.6	15.0	0.9	37.4
30歳代	183	57.9	25.1	20.8	2.2	12.0	30.6	9.8	21.3	7.1	5.5	10.4	21.9	3.3	24.6
40歳代	192	49.5	29.2	20.8	3.6	11.5	29.7	10.9	17.2	3.6	3.1	12.0	17.2	2.1	33.9
50歳代	212	61.3	39.6	30.2	7.5	12.3	40.6	14.6	14.2	4.2	5.2	20.8	25.9	0.5	21.2
60歳代	191	62.3	37.7	31.4	9.9	19.4	45.0	14.7	15.2	1.6	5.2	29.3	19.9	1.0	15.7
70歳以上	93	50.5	46.2	39.8	6.5	8.6	36.6	9.7	14.0	4.3	7.5	24.7	26.9	3.2	12.9

(4) 比較分析

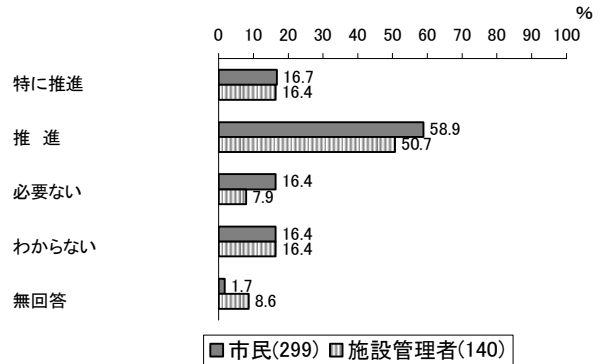
あなたは、観光地として、何が新城市の魅力であるとお考えでしょうか？
(複数回答可)

観光地として、何が新城市の魅力であると考えているかについて、市民と施設管理者と来訪者を比較すると、来訪者の「花・紅葉の名所」「歴史・文化遺産」の割合が、低くなっています。また施設管理者の「料理」の割合が、20ポイント以上高くなっています。



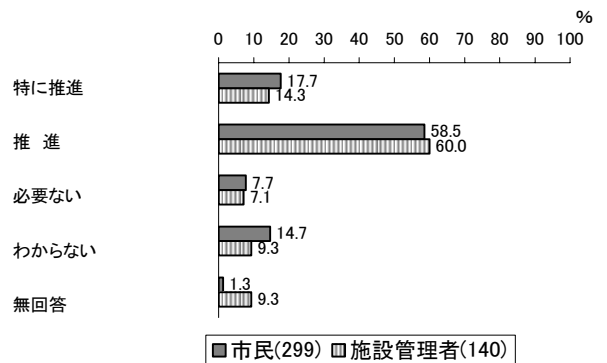
体験型観光、例えば、農業体験や林業体験・そば打ち体験などの推進についてどう思いますか？

体験型観光の推進について市民と施設管理者を比較すると、大きな差異はみられません。



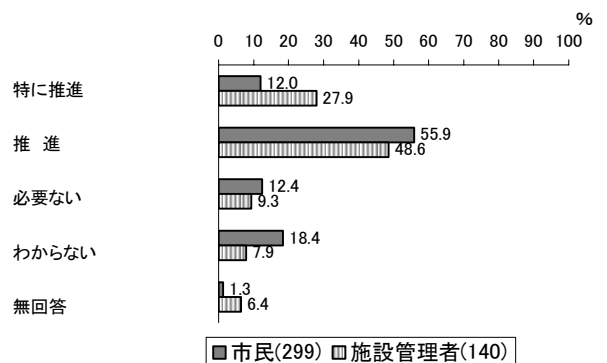
アウトドアスポーツ、例えば、サイクリング・ハイキング・釣りなどの推進についてどう思いますか？

アウトドアスポーツの推進について市民と施設管理者を比較すると、大きな差異はみられません。



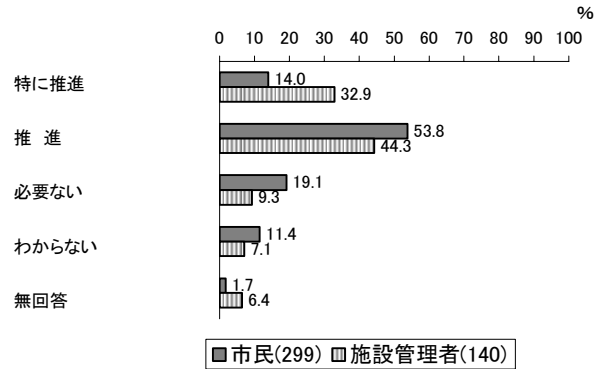
既存の観光施設の改築・整備の推進についてどう思いますか？

既存の観光施設の改築・整備の推進について市民と施設管理者を比較すると、施設管理者の「特に推進」の割合が、約 15 ポイント高くなっています。



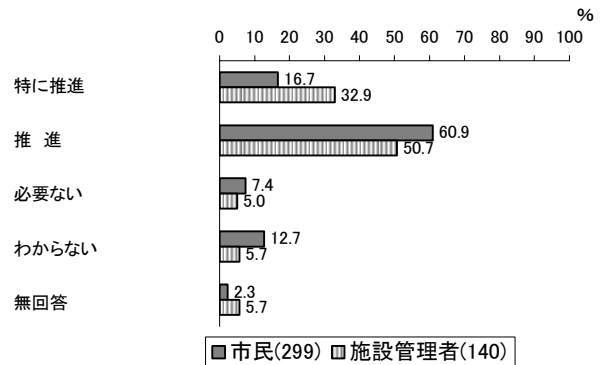
交流拠点施設の整備、例えば、道の駅などの整備についてどう思いますか？

交流拠点施設の整備について市民と施設管理者を比較すると、施設管理者の「特に推進」の割合が、約 20 ポイント高くなっています。また、「必要ない」の割合は市民が約 10 ポイント高くなっています。



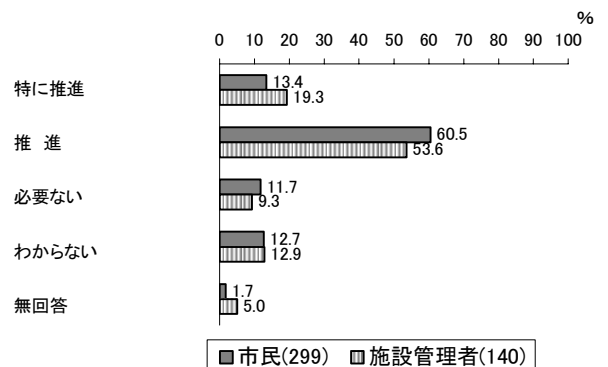
観光ルートの設定、例えば、観光名所や歴史探訪などのルート設定についてどう思いますか？

観光ルートの設定について市民と施設管理者を比較すると、施設管理者の「特に推進」の割合が、約 15 ポイント高くなっています。



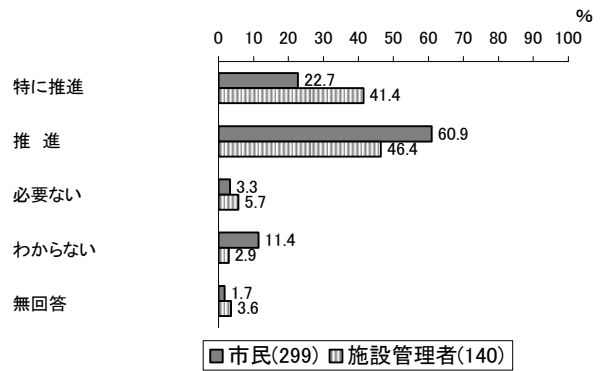
観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進についてどう思いますか？

観光ボランティアガイドの養成や、その活動の推進について、市民と施設管理者を比較すると、大きな差異はみられません。



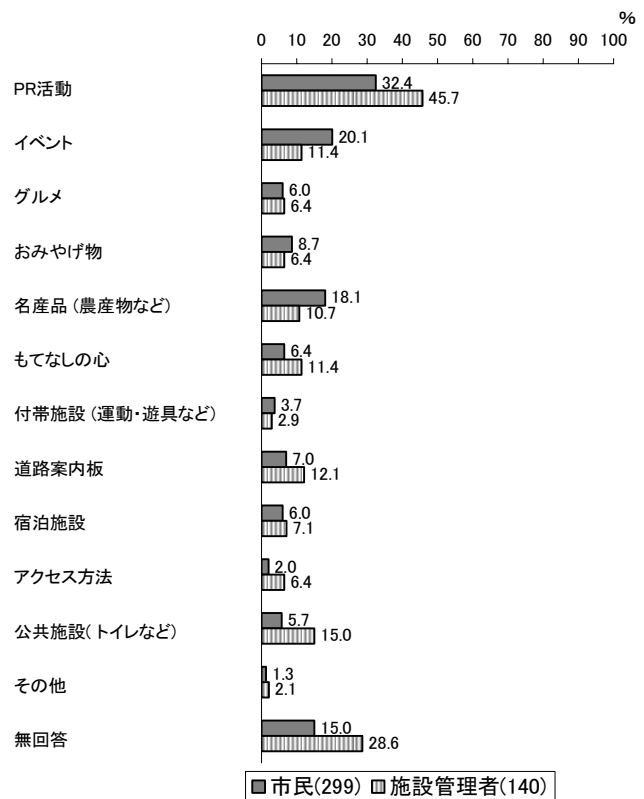
観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについてどう思いますか？

観光情報の発信としてホームページの有効活用を推進することについて、市民と施設管理者を比較すると、施設管理者の「特に推進」の割合が、約 20 ポイント高くなっています。



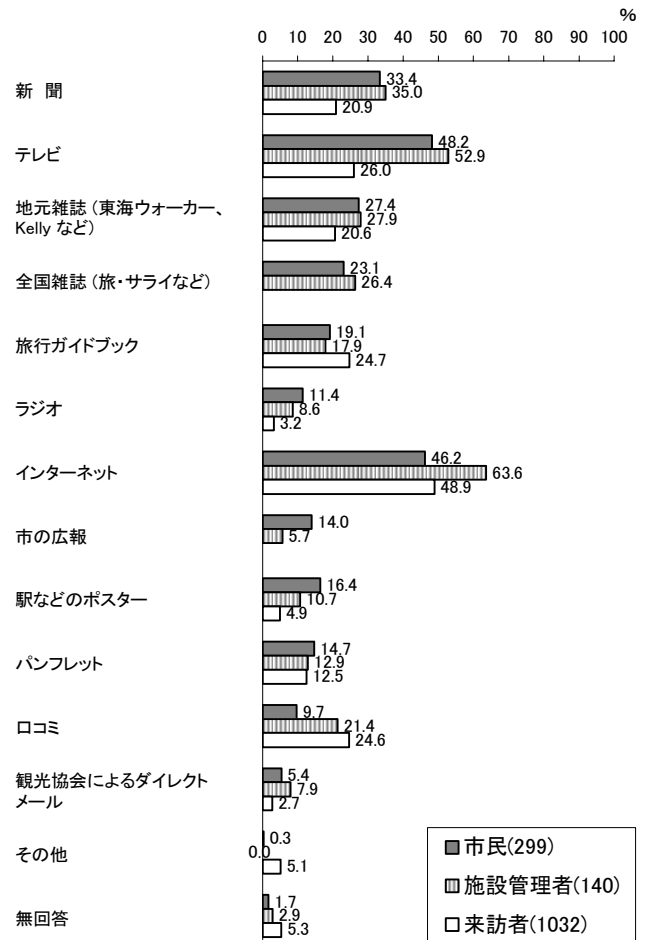
新都市の観光の活性化を図るために最も必要とするものはどれでしょうか？

活性化を図るために最も必要とするものについて、市民と施設管理者を比較すると、施設管理者の「PR活動」の割合が、約 10 ポイント高くなっています。



あなたが、新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものはどれでしょうか？(複数回答可)

新城市の観光情報を発信するための手段として最も有効と思うものについて、市民と施設管理者と来訪者を比較すると、施設管理者の「インターネット」の割合が高くなっています。また来訪者の「テレビ」の割合が、半分以下の数値となっています。



IV 自由意見

(1) 市民・施設管理者の意見

新城市の観光振興に対して、ご意見や要望がありましたらご記入ください。

- ・ 最近全国で話題となっているB級グルメ等のメニューを開発したらと思います。(地域活性化)
- ・ 自然を大切に、益々良い環境を維持してください。
- ・ 現在 何をメインにしているのかが、はっきりしていません。新城市としての情報が不足しているように思います。
- ・ 湯谷温泉をきれいにもっと大きな施設にするべき。あと お湯を毎日清掃して替える必要があります。
- ・ 観光施設へのトイレの設備が必要です。
- ・ 先進地のまねをすること。(岡崎市城の付近)
- ・ 観光以前の環境を整える問題が山積みだと思います。この時代にふさわしい環境の良い町になればおのずから人が集まると思います。
- ・ 温泉があると良い。
- ・ 継続的な推進との見直しに付いて。
- ・ 鳳来寺山頂の整備が必要。
- ・ 今、歴史ブームなので、長篠・設楽が原合戦のグッズやイベントを増やしたら如何ですか。
- ・ 行事をしている場所の説明がない。(詳しい場所を必ずつけてほしい)
- ・ PRが必要。情報発信が今の時代に合った手段だと思います。
- ・ 今のままで、静かで住みやすいので、良いと思います。
- ・ 緑や水を守ることが必要です。
- ・ 住んでいる意向を考えて、作り物観光はしない。自然立地を生かしたものにします。
- ・ 桜ぶちのブランコ、滑り台がなくなって淋しい。桜ぶちの遊具がほしい。
- ・ 道路わきの草は誰が刈るのか。
- ・ テレビはわかりやすく良かった。
- ・ 桜ぶち周辺の環境整備が必要です。狭い場所(大善寺辺り)など。
- ・ 協力して観光開発をしてほしい。
- ・ 駅から、桜ぶちに続く観光地作りが必要です。
- ・ これと思うもの、また行こうと思うものが少ない。
- ・ 観光地でない所では採算が合わない(道の駅) PRが足りない。新城の身の丈にあったPRをする。
- ・ 釣りぼりがあると良いです。
- ・ 3地区全体をうまくまとめてテーマを持って観光できるようなものを考えてほしい。

- ・ 高齢者の力を活用して清掃活動をしたらどうか。
- ・ 夜のメインがありません。
- ・ もてなしが不足。歴史関係のパンフレットがあるとよい。

(2) 来訪者の意見

新城市の観光振興に対して、ご意見や要望がありましたらご記入ください。

- ・ 現在豊川市在住ですが、元々新城の出身です。また現在豊川市の職員です。新城、豊川お互いに単発では観光振興も大変です。「東三河」としてネットワークを組むなどして、相乗り効果を狙ってははどうでしょう。
- ・ 皆様の頑張りを誇りに思いました。心からの敬意をはらわせていただきます。
- ・ 安い値段で温泉に入りたい。子どもの遊び場の充実。食事の充実、トイレの利用しやすさが必要だと思います。
- ・ 楽しい時間を過ごしました。
- ・ 今回は、目的地以外を良く調べずにきたのですが、寄った所でその他のみどころを紹介してあると、ちょっと他にもよってみようかという気になるかもしれません。
- ・ 四季のイベントなど、新聞などに載ると良いです。
- ・ 寒狭川の鮎をもっとアピールして欲しいです。
- ・ 自然環境、豊かな良い土地だと思います。今度は春に来たいです。
- ・ やまびこの丘に温泉を引いてほしいです。
- ・ やまびこの丘のクレートニスコートを修理してください。
- ・ 自然が素晴らしいので、いつまでも美しい町でお願いします。
- ・ イベントの情報を知る手だてがあまりないので、もう少し情報発信を考えると良いと思います。
- ・ 施設料金が安くて素敵です。
- ・ やまびこはとても施設も整って利用しやすいです。
- ・ BBQ設備が整っていてよかったです。
- ・ 初めて鳳来寺に来ました。とても自然がいっぱいで秋の紅葉がとてもきれいだと思います。ぜひ訪れたいです。電車、バスでのアクセスももっと便利になれば良いです。名古屋から直通便が出るとか。
- ・ 近隣に住んでいるにも拘らず、こんな近くに自然にあふれる地がある事を知らなかった。もっと広めたいと思います。
- ・ 旧鳳来町への観光振興をより力を入れていただきたいと存じます。
- ・ 季節ごとに何か特長のあるイベントの開催

- ・ 料理が出てくるまで時間がかかりすぎ。持ってきたときにわびの一言もありません。別の客が多くて忙しいという感じでもなかったのに。客をどれだけ待たせるのか。仮に忙しかったにしても、それを予想して準備をするべきです。それができないから、客を待たせることになるのだとおもいます。
- ・ ナビをつけてないのもう少し案内を増やしてもらえるとありがたいです。迷っちゃいました。
- ・ 風景以外の楽しみがない。これという目的が欲しい。一日体験などあっても知らないかもわからない。
- ・ 子どもが遊べる場所がもう少しあると良いと思います。
- ・ 自然を今のまま残してってください。観光地における授乳室、トイレ等設備の増強に努めていただきたい。
- ・ 美しい自然を大切に守る試みを、頑張ってください。
- ・ 自然を大切にしたいです。
- ・ 電車の本数がもう少し増えると行き来がしやすいと思います。
- ・ 小さな子どもを連れてきても、とても楽しめます。何度来ても皆さん優しくて、あたたかい人たちばかりなので嬉しいです。
- ・ わんぱくで良い。たくましく育てほしいです。
- ・ 案内標識が少し不足しました。
- ・ パンフレットが少ない。
- ・ トイレがドボンで怖かった。仏法僧の声が聞きたかったです。
- ・ 温泉は料理と湯です。“のんびり”が温泉の最高の湯です。
- ・ 犬連れOKなところを増やしてほしいです。

新城市観光基本計画

平成22年3月発行

◆編集発行◆

新城市経済部観光課

新城市長篠字下り箆1-2

TEL (0536)32-1985 FAX (0536)32-2111

URL <http://www.city.shinshiro.lg.jp>
